

安心・安全の科学研究教育センターニュース

Center for Risk Management and Safety Sciences

【目次】

- ❖ 石油タンク安全管理学分野の研究プロジェクト、新日本製鐵株式会社との共同研究
- ❖ センターの活動紹介
- ❖ センターからのお知らせ、新しい教職員の紹介、編集後記

第11号



安心・安全センター石油タンク安全管理学分野

「陸上タンク開放検査周期の合理化に関する調査検討」プロジェクトを推進

(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構の公募研究平成20年度「陸上タンク開放検査周期の合理化に関する調査検討」に採択され、6月26日から新たな大型の研究プロジェクトをスタートさせました(代表 安心・安全センター 関根和喜 特任教授)。この研究は、我が国で安心してエネルギー供給が行われるよう、大量に備蓄された石油の入れ物である大型タンクの安全性の向上と、運用コストの削減を目標に行われます。

当センターを中心に、学内の複数の部局や包括連

携先である(株) IHI 等と連携して取り組んでおり、7月17日(木)には各機関の代表が集結し、第1回研究プロジェクト推進会議を開催しました。

このプロジェクトは、平成17~19年に同機構から委託された大型プロジェクト「石油タンクの先進的セイフティマネジメントのための基盤技術の創生—研究拠点形成による包括的維持管理技術の開発—」を発展させるものとして大きな期待が寄せられています。

新日本製鐵株式会社と安心・安全センターとの共同研究を推進

新日本製鐵株式会社と当センターとが共同研究「公共鋼構造物の損傷リスクマネジメントと予防保全に関する研究」を平成20年4月15日に開始し、新日本製鐵からは紀平寛氏が当センターの客員教授に着任されました。本学からは関根和喜 安心・安全センター特任教授、福富洋志 工学研究院教授、笠井

尚哉 環境情報研究院准教授、岡崎慎司 工学研究院准教授、伊藤大輔 工学研究院特別研究教員、佐々木栄一 工学研究院准教授、井出英策 国際社会科学研究所 准教授、小林剛 安心・安全センター 准教授が参加し、鋼構造物の安心・安全な長寿命化技術を先進化させる研究を行っています。

センターの活動紹介

高度リスクマネジメント技術者育成ユニットの9月修了式を実施

9月30日、自然科学系総合研究棟 I 404 室において平成20年度高度リスクマネジメント技術者育成ユニットの9月修了生の修了式を行いました。修了要件を満たした修士3名に「修了証」が授与されました。修了生の今後の活躍が期待されます。



安心・安全センター平成19年度年報を発行

当センターの平成19年度の年報を発行しました。ホームページで公開していますので、よろしければぜひご覧ください。 <http://www.anshin.ynu.ac.jp/>

安全・健康・快適フェア2008にブース出展

「安全・健康・快適フェア—安全衛生総合展2008—」(5月22~24日、東京ビッグサイト、(財)全国安全会議、中央労働災害防止協会主催)に、主催者の要請でブースを出展しました。当センターや本学の安心・安全関連の研究教育活動その他の各種資料の配布や展示を行い、来場者から社会人教育などへの期待の声が寄せられました。フェアへの来場者は14,210名でした。

公開セミナー「ものづくりとCAE」を実施

8月29日(金)、工学部講義棟C201において、公開セミナー「ものづくりとCAE」を実施しました。ものづくりにおけるCAE(Computer Aided Engineering)の有用性と課題に関し、株式会社東芝研究開発センター 研究主幹 大富浩一氏から「ものづくりにおけるCAEの役割」について、株式会社日本総研ソリューションズ エンジニアリング本部 アプリケーションコンサルタント 戸倉直氏から「設計支援ツール」について、安心・安全の科学研究教育センター 白鳥正樹特任教授から「計算の品質」について講演していただきました。また、参加者による活発な総合討論が行われました。学内外から66名の方にご参加いただき、当センターの公開セミナーや教育活動に期待の声が多数聞かれました。



センターからのお知らせ

安心・安全の科学研究教育センター 公開セミナー 「柏崎原発の安全と安心」

主催：安心・安全の科学研究教育センター
高度リスクマネジメント技術者育成エリート実行委員会
日時：平成20年12月2日(火) 13:30~16:30
場所：工学部講義棟C-301室
参加費：無料(100程度募集)
内容：「新潟県中越沖地震の概要と設備健全性への影響について」(東京電力(株)原子力設備管理部新潟県中越沖対策センター所長 山下和彦氏)、「設備健全性の評価について」(経済産業省原子力安全保安院原子力発電検査課統括安全審査官 前川之則氏)、「市民の立場から、安心して運転再開を認めるためにクリアすべきこと」(環境科学会理事 村田佳壽子氏)、総合討論

参加申込：氏名、所属、住所、電話・FAX番号、E-mailをご記載の上、当センターまでFAXまたはE-mailでご連絡ください。

新しい教職員の紹介

客員教授 紀平 寛

(新日本製鐵)

平成20年5月から、新日本製鐵株式会社と共同で、公共鋼構造物の損傷リスクマネジメントと予防保全に関する研究が開始されました。鋼構造物の安心・安全な長寿命化方法を先進化させる取り組みとなります。真に安心な社会の実現は、人権を尊重するリスク管理を会得した、創造性の高い人材の育成によって可能になると考えます。どうぞよろしくお願いたします。

安心・安全関連の学内外の情報

第20回風工学シンポジウム

共催：電気学会(幹事学会)、日本鋼構造協会、土木学会、日本気象学会、日本建築学会、日本風工学会
期日：平成20年12月3日(水)~12月5日(金)
会場：東京大学 山上会館 強風災害に関する発表もあります。詳細は下記をご参照下さい。

http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/03-conference/data-31/sympo_08kaze_01.html

横浜国立大学の環境報告書

本学の環境報告書「横浜国立大学エコキャンパス白書(環境報告書)2008」が公開されています。本学の環境配慮に関する方針や実態、取り組みについて施設部により取り纏められています。詳細は下記をご参照下さい。

http://www.jmk.ynu.ac.jp/gakugai/shisetsu/5kan_mane/ecocampus/eco_campus2008.pdf

編集後記

- ❖最近食品の安全性に関する報道のされ方にとっても関心を持っています。(こ)
- ❖大学の安全衛生に関する研究会に参加し、他学の先駆的かつ熱心な活動を知ることが出来ました。(す)
- ❖食品の産地偽装が続いています。地産地消で安全な食品を安心して食べたいですね。(な)

安心・安全の科学研究教育センターニュース

第11号 2008年11月1日発行

国立大学法人 横浜国立大学

安心・安全の科学研究教育センター



〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

TEL: 045-339-3776 (社会人教育, 研究開発ほか)

045-339-3772 (高度リスクマネジメント技術者育成エリート)

045-339-3797 (石油タンク安全管理学分野)

FAX: 045-339-4294

URL: <http://www.anshin.ynu.ac.jp>

E-MAIL: anshin@ynu.ac.jp